# 1 安積濾紙 株式会社

カートリッジフィルター

# フィルトレーション技術で未来を切り開く“AZUMI”

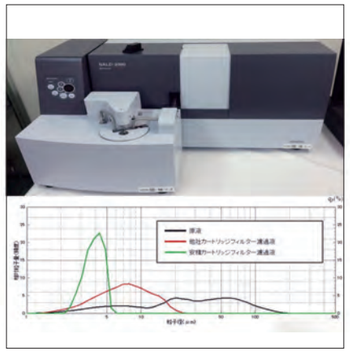
## 平成26年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

### 高性能濾紙の市場展開に向けた精密濾過性能評価システムの構築

■ 事業概要

精密濾過性能を高い信頼性で評価できるシステム用にナノ粒子計測装置「レーザ回折式粒子径分布測定装置」を導入し、濾紙の濾過性能が短期間にて評価できるシステムを構築した。結果として、高性能濾紙の製造中に品質確認が行えるようになり、生産性向上につながった。



ナノ粒子計測装置と測定結果

| 課題 | 取組 | 成果 |
|---|---|---|
| ●精密濾過領域を高い信頼性で評価するシステムが無い<br>●高性能濾過紙の製品品質を迅速に確認する方法が無いため、製造プロセスにおける品質安定化対応が困難 | ●ナノ粒子計測装置の導入 | ●精密濾過分野評価システムの確立<br>●高性能濾紙生産時の品質確認方法確立 |

## 業務内容

### フィルトレーション(濾過)技術にも強み

大正８年創業。一般的な紙の卸問屋として輸入販売を手がけたのが始まりで、濾紙や濾過布をメーンにカートリッジフィルター、バックフィルター、化繊紙、樹脂加工紙、エレメント各種の製造、販売、アフターサービスを手がけている。

そのほか濾紙で対応できない場合は、他社から不織布を購入し、濾過性能などを保証してフィルターに仕立てたり、フィルタユニットへ組み立てて販売するなど、濾紙だけでなくフィルトレーション(濾過)技術に関わる案件も一手に引き受けている。

### 濾紙の機能を活かした商品展開も充実

最近では濾過以外の分野でも引き合いが多くなってきている。それは濾紙を作る技術を利用した消費商材(活性炭など各種機能剤混抄紙、応用製品)で、機能紙生産ユニットでの供給が可能とされる活性炭ハニカム(濾過時に吸着して空気を清浄化する)やポリエステル不織布に特殊加工を施し、優れた吸水性と抗菌防かび性能をもつ吸水蒸発ユニット(空気の質を変える、加湿する)などである。濾紙が多孔質である特徴を利用し活性炭を濾紙の中へ入れたり、繊維と繊維にできる隙間を活用し、水を毛細管現象により蒸散させたもので素材の特性を最大限に活かしている。

吸水蒸発ユニット

## 強みとビジョン

### 顧客対応力を高める

同社は顧客からのニッチで少量多品種の商品ニーズに対応するための体制が整っている。また長年培ってきた濾過に関するノウハウを持っている事も他社にはない強みがある。さらに、顧客からのニーズに合わせた商品開発にも注力している。ナノ・分子レベルの分離機能を持つ濾紙の研究開発を得意とし、年間60―70件の開発案件を受け、年々高度化する顧客からの要求に応えようとしている。

各種濾紙(産業用・分析用)

### 高性能濾紙を成長の柱へ

平成24年に福井工場、26年に岐阜工場を新設。昭和８年より稼働している主力の大阪工場と併わせて３生産拠点を持つ。国内販売の競争力を強めるとともに、輸出比率が３割に伸びている中国や東南アジアなど海外需要向けへの供給拡大も図っている。今後は医療分野で使用する濾紙や自動車用オイルフィルターをはじめ半導体や化学分野など製造工程で使用される高性能濾紙の採用域をさらに促進させるべく、販売力強化をする方針だ。

高性能濾紙

### 世の中に役立つ商品を作り続ける

濾過、フィルターは世の中にはなくてはならないものとして存在しています。商品を通じて世の中の役にたち、貢献し続けていくことが私たちの使命だと思っています。今後はより一層開発力、品質レベルの向上をはかり、引き続きお客様のお役に立てる様、誠心誠意努力してまいります。

●社　名　安積濾紙 株式会社
●代表者　代表取締役社長　安積 覚
●住　所　〒533-0004 大阪市東淀川区小松4-2-15
●TEL　06-6327-5145㈹　●FAX　06-6328-0492
●資本金　45,000千円　●従業員　190名
<<< 代表取締役社長　安積 覚


https://www.azumi-filter.co.jp/

●主な取引先　トヨタ紡織、コニカミノルタ、新日鉄住金
●主な保有設備　抄紙機3台、樹脂加工機1台、カレンダー加工(張り合わせ加工)機2台、複合加工機(含浸加工、コーター加工、張り合わせ加工)1台、シングルカッター機4台、スリッター7台、紙断裁機(断裁、打ち抜き、特殊型加工)7台
●主力製品　濾紙、機能紙、樹脂加工紙、濾過布、化繊紙、カートリッジフィルター、バッグフィルター、濾過機、エレメント各種

短納期　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　海外対応　試作OK　連携力

**REPORTER'S EYE**

濾紙を中心とした機能紙から始まり、人々にとって、求められていることは何なのか、この先に必要とされることは何なのかを徹底的に考え、製品の研究開発、供給を続けてきた当社。平成31年、創業100周年を迎えることができたのも、支えて頂いた多くの方々のご支援があり今があると感謝を語る。これからも顧客のニーズに応える商品を提供していきたいとさらなる飛躍を誓い、次の100年に向けて新たな一歩を着実に踏み出している。